

◆ 一般会計・歳入決算額とその推移 ◆

歳入総額は500億6980万円となり、前年度と比較すると、6億4210万円の増(+1.3%)となりました。

区 分		令和元年度		平成30年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比
自主財源	市税	230億7694万円	54.2%	231億6509万円	57.1%
	繰越金	12億8440万円		17億349万円	
	諸収入	10億1601万円		9億7090万円	
	使用料及び手数料	6億1865万円		6億8522万円	
	分担金及び負担金	4億4026万円		5億9585万円	
	財産収入、寄附金	3億5425万円		3億1294万円	
	繰入金	3億4003万円		8億1239万円	
依存財源	国庫支出金	87億5950万円	45.8%	79億7375万円	42.9%
	市債	37億4200万円		32億5020万円	
	県支出金	36億9788万円		37億7158万円	
	地方交付税	29億132万円		24億3608万円	
	地方消費税交付金	26億7127万円		27億7304万円	
	地方特例交付金	3億8723万円		1億2862万円	
	地方譲与税	3億4260万円		3億3538万円	
	自動車取得税交付金	9452万円		1億7802万円	
	その他	3億4294万円		3億3515万円	
合 計		500億6980万円	100%	494億2770万円	100%

◎ 用語解説 ◎

自主財源	市税や使用料など、市が自主的に収入できる財源
依存財源	国庫支出金や市債など、収入の源泉を国や県に依存し、その額と内容が国や県の基準に基づくもの